

2025年2月

企画展

リニューアルオープン5周年記念展

EXPO 博覧会の時代

- 会期 : 2025年3月8日(土) → 8月18日(月)
 - 第Ⅰ部 3月8日(土) → 4月28日(月)
 - 第Ⅱ部 5月3日(土・祝) → 6月23日(月)
 - 第Ⅲ部 6月28日(土) → 8月18日(月)
- 会場 : 高島屋史料館 企画展示室 (大阪市浪速区日本橋3-5-25 高島屋東別館3階)
- 開館時間 : 午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 : 火・水曜日
※展示替休館 : 4月29日(火・祝) → 5月2日(金) / 6月24日(火) → 6月27日(金)
- 入館料 : 無料

博覧会は、種々の物品・資料を集めて展示し、改良進歩と販路拡大を目的に一般に公開される催しです。万国博覧会は文字通り、世界各国が参加する博覧会で、最初の万博は1851年、イギリスのロンドンで開催されました。万博では、参加国の科学や産業、美術や工芸が展示され、優秀と認められたものには各賞が授与されました。各国が自国の最新技術や芸術を競い合った19世紀後半は、「博覧会の時代」と呼ばれます。

日本が国家として万博へ正式参加したのは1873年、オーストリアのウィーン万博でした。工業が未発達であった日本は、職人が技巧を尽くした陶磁器や漆器、金工や七宝、染織などの手工芸品を出品しました。それらはヨーロッパで「ジャポニスム(日本趣味)」の流行を巻き起こすことになりました。

一方、日本国内でも、政府主導の内国勧業博覧会をはじめ各地で博覧会が開催されていました。当時、京都の呉服商高島屋が国内外の博覧会へ積極的に染織品を出品し受賞を重ねたことはあまり知られていません。けれども、万博への参加は「世界と美術で競うことである」と、高島屋が万博へ送り出した作品の数々は「美術染織品」と称され、その精緻さ・美しさは各国で高く評価されました。それは日本が育んできた文化・芸術の粋を世界に知らしめることでもありました。

本展では、高島屋が「博覧会の時代」に製作した刺繍やビロード友禅作品を一堂に集め展覧いたします。世界を魅了した、比類なき手仕事をご堪能いただければ幸いです。



■本展の見どころ■

※本展は会期をⅠ・Ⅱ・Ⅲ部に分け、展示作品をすべて入れ替えて構成します。

19世紀後半「博覧会の時代」、高島屋が国内外の博覧会へ出品したのは、画工が下絵を描き、職人が染織技術（刺繍・染・織）を駆使して絵画を表現した作品でした。それらは極めて“美術的”であることから「美術染織品」と呼ばれ、国内外で高い評価を受けました。当時、美術染織品は主に輸出用として製作されたので、国内に残る例は決して多くはありません。本展は、当館所蔵品の他、京都国立近代美術館、清水三年坂美術館に所蔵される高島屋製の作品 50 点余を一堂に展観し、かつて世界を魅了した日本の手仕事を再発見いただける貴重な機会となります。



刺繍《獅子図》 作者未詳 明治中期—大正初期
高島屋史料館蔵【Ⅰ部展示】



刺繍《獅子図》 刺繍：加藤達之助 年未詳
清水三年坂美術館蔵【Ⅰ部展示】



ピロード友禪《金地虎の図》
下絵：岸竹堂／友禪：村上嘉兵衛
明治中期
高島屋史料館蔵【Ⅱ部展示】



刺繍《蘆に虎図》作者未詳
明治—大正期
京都国立近代美術館蔵
【Ⅱ部展示】
Photo：木村羊一



セントルイス万国博覧会
賞状・賞牌 1904年
高島屋史料館蔵【Ⅰ・Ⅱ部展示】



刺繍《波》作者未詳 明治中期一大正初期
高島屋史料館蔵 【Ⅱ部展示】



刺繍《波濤図》作者未詳 1910年頃
京都国立近代美術館蔵 【Ⅱ部展示】

Photo：木村羊一



刺繍《雪中蒼鷹図》

原画：竹内栖鳳 / 刺繍：未詳 1894年頃
京都国立近代美術館蔵 【Ⅲ部展示】 Photo：木村羊一



京都市工芸品展覧会賞状・
一等賞金牌 1894年
高島屋史料館蔵 【Ⅲ部展示】
※刺繍《雪中蒼鷹図》に対する賞状



刺繍《尾長鶏図》 作者未詳

明治一大正期

清水三年坂美術館蔵 【Ⅲ部展示】



刺繍製作の様子

飯田新七(高島屋)刺繍工場

『京都府写真帖』 1908年

京都府編

■イベントのご案内■

①②いずれも参加無料、要申込み、抽選制です。当館ホームページよりお申込みください。
※詳細は当館ホームページをご覧ください。状況により、イベントを中止する場合がございます。

① 講演会「万博と刺繍—麗しき刺繍絵画の世界」

要申込み・抽選制

講師：松原 史 氏（北野天満宮北野文化研究所室長）

日時：4月13日（日）午後1時～午後2時30分

会場：多目的ルーム

定員：20名

② 講演会「博覧会と高島屋—世界を舞台に美術で競う！」

要申込み・抽選制

講師：高井多佳子（高島屋史料館 研究員）

日時：6月8日（日）午後1時～午後2時30分

会場：多目的ルーム

定員：20名

.....

学芸員による「企画展ギャラリートーク」

会期中の毎週土曜日午後2時から（約30分）※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。

.....

併催：特集展示「タカシマヤ文化基金35周年」

高島屋は、1990（平成2）年に公益信託タカシマヤ文化基金を設立、新鋭作家や美術文化の保存・発掘・振興に寄与する団体などへの助成を行っています。高島屋史料館が所蔵する、タカシマヤ美術賞受賞者による作品をご紹介します。

学芸員による「特集展示ギャラリートーク」

日時：7月6日（日）午後1時から（約50分）

会場：アーカイヴス展示室

※お申込み不要、開始時間までにロビーにお集まりください。